

令和 9 年度横浜国立大学入学者選抜における変更について（予告）

令和 7 年 5 月 16 日

令和 7 年 6 月 20 日更新

横 浜 国 立 大 学

このことについて、次のとおり変更します。

1. YGEP-NI 私費外国人留学生入試

都市科学部 建築学科、都市基盤学科、環境リスク共生学科

（詳細は 2 ページ参照）

YGEP-NI（渡日前入試）の募集を停止します。

2. 一般選抜

理工学部 数物・電子情報系学科 電子情報システム教育プログラム

（詳細は 2 ページ参照）

後期日程の募集人員について、「38 名」から「37 名」に変更します。

3. 学校推薦型選抜

理工学部 数物・電子情報系学科 電子情報システム教育プログラム

（詳細は 3 ページ参照）

新たに「女子枠」を導入します。

従来の学校推薦型選抜については、「一般枠」として募集し、募集人員を
「15 名」から「8 名」に変更します。

これは令和 9 年度（2027 年度）入学者選抜に係る資料です。

I. YGEP-NI 私費外国人留学生入試

実施学部 学科名等	都市科学部 建築学科	
	変更後（令和 9 年度以降）	変更前（令和 8 年度）
募集人員	YGEP-NI（渡日入試） 2 名 ※YGEP-NI（渡日前入試）の募集を停止	YGEP-NI（渡日入試）、YGEP-NI（渡日前入試） あわせて 2 名

実施学部 学科名等	都市科学部 都市基盤学科	
	変更後（令和 9 年度以降）	変更前（令和 8 年度）
募集人員	YGEP-NI（渡日入試） 8 名 ※YGEP-NI（渡日前入試）の募集を停止	YGEP-NI（渡日入試）、YGEP-NI（渡日前入試） あわせて 8 名

実施学部 学科名等	都市科学部 環境リスク共生学科	
	変更後（令和 9 年度以降）	変更前（令和 8 年度）
募集人員	YGEP-NI（渡日入試） 3 名 ※YGEP-NI（渡日前入試）の募集を停止	YGEP-NI（渡日入試）、YGEP-NI（渡日前入試） あわせて 3 名

2. 一般選抜（後期日程）

実施学部 学科名等	理工学部 数物・電子情報系学科 電子情報システム教育プログラム	
	変更後（令和 9 年度以降）	変更前（令和 8 年度）
募集人員	数物・電子情報系学科 <u>107</u> 名 数理科学教育プログラム 15 名 物理工学教育プログラム 30 名 電子情報システム教育プログラム <u>37</u> 名 情報工学教育プログラム 25 名	数物・電子情報系学科 <u>108</u> 名 数理科学教育プログラム 15 名 物理工学教育プログラム 30 名 電子情報システム教育プログラム <u>38</u> 名 情報工学教育プログラム 25 名
出願要件	変更なし	
選抜方法	変更なし	

3. 学校推薦型選抜

実施学部 学科名等	理工学部 数物・電子情報系学科 電子情報システム教育プログラム	
女子枠 導入理由	今回の学校推薦型選抜（女子枠）の導入は、持続可能で多様性に富んだ社会の実現に資する人材育成を目的としています。現代社会において、電気・電子・通信・情報工学などの分野では、技術の発展とともに多様な視点が求められており、性別を含む多様な価値観の参画が研究開発の質の向上や新たなイノベーション創出につながることが広く認識されています。そのため、女性研究者・技術者への社会的ニーズは着実に高まっています。 しかしながら、本学の電子情報システム教育プログラムにおける女子学生の割合は依然として十分ではなく、優秀な女子生徒が当該分野への進学を選択肢として認識・検討する機会が、進路選択の傾向や意識形成の段階で十分に生まれていない可能性があります。このような構造的課題に対して、理工学部として様々な取り組みを行っておりますが、その一環として入口段階での働きかけを行い、進路として認識・検討いただくことを期待しています。なお、特定の性別を優遇するものではありません。 今回の選抜では、電気・電子・通信・情報工学分野への進学を志す意欲ある女子生徒に対し、その潜在能力を十分に発揮できるよう進学の機会を積極的に提供するとともに、将来、研究者・技術者として活躍し、分野全体の多様性に貢献してくれる女子学生が増加することにつながると考えております。	
	令和 9 年度以降 (年度及び年については、令和 9 年度選抜を記載しています)	令和 8 年度
募集人員	(一般枠) 8 名 ※従来の学校推薦型選抜については、「(一般枠)」として募集します。 (女子枠) 8 名	15 名
出願要件	(一般枠) 次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】 出身学校長の推薦を受け、かつ、令和 9 年度大学入学共通テストにおいて指定する教科・科目のすべてを受験した者で、次の 1 又は 2 に該当する者 1. 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和 8 年（2026 年）4 月から令和 9 年（2027 年）3 月までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和 8 年（2026 年）4 月から令和 9 年（2027 年）3 月までに修了又は修了見込みの者 【要件】 次の 1 から 4 のすべてに該当する者 1. 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4. 0 以上の者、若しくは、調査書の国語、数学、理科、外国語において学習成績の状況の平均が 4. 2 以上（小数点以下第 2 位を四捨五入）の者（注 1） 3. 出身学校において「数学Ⅲ」と「数学 C」および理科を 2 科目以上履修した者（注 2） 4. 合格した場合には入学の確約ができる者 注 1：例えば、全体の学習成績の状況が 3.9 だが、国語 3.4、数学 4.5、理科 4.5、外国語 4.2 の場合、国語、数学、理科、外国語の学習成績の状況の平均が 4.15 のため、出願資格があります。 注 2：「理科」とは、「物理基礎」、「物理」、「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」、「地学基礎」、「地学」を指します。 推薦人員については、1 校 4 名まで推薦することができます。((一般枠) と (女子枠) は合算しません) (女子枠) に合格しなかった者は、(一般枠) の出願が可能です。	次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たす者 【基礎資格】 出身学校長の推薦を受け、かつ、令和 8 年度大学入学共通テストにおいて指定する教科・科目のすべてを受験した者で、次の 1 又は 2 に該当する者 1. 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和 7 年（2025 年）4 月から令和 8 年（2026 年）3 月までに卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和 7 年（2025 年）4 月から令和 8 年（2026 年）3 月までに修了又は修了見込みの者 【要件】 次の 1 から 4 のすべてに該当する者 1. 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4. 0 以上の者、若しくは、調査書の国語、数学、理科、外国語において学習成績の状況の平均が 4. 2 以上（小数点以下第 2 位を四捨五入）の者（注 1） 3. 出身学校において「数学Ⅲ」と「数学 C」および理科を 2 科目以上履修した者（注 2） 4. 合格した場合には入学の確約ができる者 注 1：例えば、全体の学習成績の状況が 3.9 だが、国語 3.4、数学 4.5、理科 4.5、外国語 4.2 の場合、国語、数学、理科、外国語の学習成績の状況の平均が 4.15 のため、出願資格があります。 注 2：「理科」とは、「物理基礎」、「物理」、「化学基礎」、「化学」、「生物基礎」、「生物」、「地学基礎」、「地学」を指します。 推薦人員については、1 校 4 名まで推薦することができます。
	(女子枠) 【基礎資格】 出身学校長の推薦を受け、次の 1 又は 2 に該当する女子 1. 高等学校（特別支援学校の高等部を含む）若しくは中等教育学校を令和 8 年（2026 年）4 月から令和 9 年（2027 年）3 月までに卒業（修了）または卒業（修了）見込みの者 2. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を令和 8 年（2026 年）4 月から令和 9 年（2027 年）3 月までに修了又は修了見込みの者 【要件】 次の 1 から 4 のすべてに該当する者 1. 出身学校長が人物、能力等について責任をもって推薦できる者 2. 調査書の全体の学習成績の状況が 4. 0 以上の者、若しくは、調査書の国語、数学、理科、外国語において学習成績の状況の平均が 4. 2 以上（小数点以下第 2 位を四捨五入）の者（注 1） 3. 出身学校において「数学Ⅲ」と「数学 C」および「物理」、「化学」、「生物」から 2 科目以上履修した者 4. 合格した場合には入学の確約ができる者 注 1：例えば、全体の学習成績の状況が 3.9 だが、国語 3.4、数学 4.5、理科 4.5、外国語 4.2 の場合、国語、数学、理科、外国語の学習成績の状況の平均が 4.15 のため、出願資格があります。 推薦人員については、1 校 4 名まで推薦することができます ((一般枠) と (女子枠) は合算しません) (女子枠) に合格しなかった者は、(一般枠) の出願が可能です。	

選 抜 方 法

（一般枠）

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績・推薦書・調査書及び面接によって行います。
選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

（大学入学共通テストの教科・科目）

国語	「国語」	}	から1				
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」						
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」						
数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」						
理科	「物理」、「化学」、「生物」から2						
外国語	「英語」、						
情報	「情報Ⅰ」						
〔6教科8科目〕							
注1：「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。 なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。							
注2：「英語」についてはリスニングを含みます。（リスニングの免除を許可された者を除く。）							
（大学入学共通テストの配点）							
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000
注3：大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。							
200点満点 リーディング100点×1.6＋リスニング100点×0.4							
なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。							
※（一般枠）と（女子枠）は、選抜日程が異なります。							

（女子枠）

入学者の選抜は、推薦書、調査書、面接、口頭試問によって行います。なお、大学入学共通テストは課しません。

面接内容と口頭試問の内容：
複数の面接員による個人面接として、志望動機、電気・電子・通信・情報工学などに関する興味、これらの分野の研究者、技術者として、新しい創造的な科学や、高度情報化社会を支える先端的技术を創出しようとする意欲、数学・理科および英語に関する基礎知識、健全な大学生活を送るうえでの適性、入学後の抱負などを評価します。さらに、将来、女性研究者・技術者として社会においてどのような役割を果たしていきたいかという将来のビジョンや意欲も評価します。
加えて、複数の面接員による口頭試問として、理工学的考えに基づく論理的思考力、理解力、表現力も審査し、今まで学んできた数学、理科などを活用した理工学的な考え方、電子情報システム教育プログラムに対する興味、知識や考え方を他者へ合理的に説明できる能力を評価します。

※（一般枠）と（女子枠）は、選抜日程が異なります。

入学者の選抜は、大学入学共通テストの成績・推薦書・調査書及び面接によって行います。
選抜の結果によっては、合格者数が募集人員に満たない場合があります。

（大学入学共通テストの教科・科目）

国語	「国語」	}	から1				
地理歴史	「地理総合、地理探究」、「歴史総合、日本史探究」、「歴史総合、世界史探究」						
公民	「公共、倫理」、「公共、政治・経済」						
数学	「数学Ⅰ、数学A」と 「数学Ⅱ、数学B、数学C」						
理科	「物理」、「化学」、「生物」から2						
外国語	「英語」、						
情報	「情報Ⅰ」						
〔6教科8科目〕							
注1：「地理歴史」及び「公民」については、第1解答科目で指定した科目を受験してください。 なお、2科目を受験した者については、第1解答科目の得点を合否判定に用います。							
注2：「英語」についてはリスニングを含みます。（リスニングの免除を許可された者を除く。）							
（大学入学共通テストの配点）							
教科名	国語	地理歴史・公民	数学	理科	外国語	情報	合計
配点	200	100	200	200	200	100	1000
注3：大学入学共通テスト「外国語」の英語を受験した場合、リーディング100点満点とリスニング100点満点を以下のとおり換算します。							
200点満点 リーディング100点×1.6＋リスニング100点×0.4							
なお、英語を受験し「リスニング」の免除を許可された者は、リーディング100点満点を200点満点に換算します。							